

週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
(詩編 37 編 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ~10 時
祈 禱 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第3・午後2時)
●夕の祈禱会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 0 4 2-7 4 2-1 5 9 3
FAX. 0 4 2-7 4 2-1 3 9 3
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
0 0 2 9 0-4-8 0 7 0 7

3208 2026 年 5 月 3 日

礼 拝 式 順 序

(復活節第5主日)

	司 式 者 井 殿 準	
	奏 楽 者 矢 野 香	
前 奏		奏 楽 者
招 詞	詩編 105 : 1 ~ 4	司 式 者
讚 美 歌	3 5 7 「力に満ちたる」	一 同
聖 書	ヨハネ 15 : 1 ~ 11 (新 P. 198)	司 式 者
使徒信条	(9 3 - 4 - A)	一 同
祈 禱		司 式 者
讚 美 歌	4 4 0 「備えて祈れ」	一 同
説 教	「繋がっている幸い」	司 式 者
祈 禱		”
讚 美 歌	3 9 3 「ここを一つに」	一 同
献 金		”
主の祈り	(9 3 - 5 - A)	”
頌 栄	2 9 「天のみ民も」	”
祝 禱		司 式 者
答 唱	4 0 - 6 「アーメン」	一 同
	~ 「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう~	
報 告		司 式 者
讚 美 歌	9 1 「神の恵みゆたかに受け」	一 同

- ・当教会では讚美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。

先週の説教要旨

「神の愛に根ざして」

(ヨハネ 13 : 31 ~ 35)

主イエスは、イスカリオテのユダの裏切りによって、いよいよ十字架へと近づいて行く中で、「今や、人の子は栄光を受けた」と語り出す。主の十字架とは、それによって世の罪が贖われ、人々に救いがもたらされるものであるが、ユダの裏切りによって、ひとり子をお与えになるほどに重たい神の愛がすでに輝き始めているというのだ。

続けて、主イエスは「あなたがたに新しい掟を与える」と述べつつ、「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」とお命じになる。我々には、時として「どうしても愛せない」と思う相手がいるが、主イエスは、そのような我々の現実をよくよくご存じであり、そのような我々が愛する者となるにはどうしたら良いか? を、ここで教えてくださっていると言えよう。

主イエスは「わたしがあなたがたを愛したように」という言葉の通り、出会う一人一人を愛された。中でも、人々から軽蔑され、弱い立場に置かれた人々のことを愛された。そのような主の振る舞いは、ユダヤ教の指導者たちの反感を買い、彼らは民衆を扇動して主を十字架につけて殺してしまったが、主はご自分を殺そうとする者たちに対しても、決して復讐しようとはせず、その人たちの赦しを神に願った。主の愛は、虐げられた人々、虐げる人々、その両方に向けられている。もちろん、我々にも。主は、どんなに我々が破れ多く、惨めな姿をさらしたとしても、その我々のために命を捨ててまでして愛してくださるのだ。

我々は、この途方もなく大きな神の愛に根ざす時、互いに愛し合うことへと導かれる。「神は尊いひとり子イエスを死なせてまで、このわたしを愛して下さっているのに、何故わたしは一人一人愛することができないのか?」と心を打ち砕かれて、我々は愛することへと押し出されて行くのだ。

今日、主イエスは我々に「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい」と語りかけている。この戒めを改めて恵みに満ちた新しい掟として胸に刻み直し、主の弟子として歩み出して行こう。